

第2回

ふるさと 怪談 トークライブ in 尾道

第1部 東雅夫氏による基調講演

第2部 尾道怪談語り

第3部 尾道怪談シンポジウム

2019年3月30日 土 開場 13:00 開演 13:30

会場 信行寺本堂
広島県尾道市東土堂町 11-36

料金 一般 / 2,000円(税込) 学生 / 1,000円(税込)

当日受付にてのご精算となります。学生の方は学生証をご持参ください。
※本企画は東日本大震災復興支援を目的とする完全非営利のチャリティイベントです。入場料はすべて、復興支援団体に寄付します。収支は企画終了後、公式サイトにてご報告します。

<http://hurusatokwaidan.web.fc2.com/event.html>
ふるさと怪談公式サイトイベントページ

定員 70名 要予約・先着順
ご予約方法は裏面をご覧ください。

主催：「ふるさと怪談トークライブ in 尾道」実行委員会 共催：尾道市立大学地域総合センター
後援：尾道市、尾道市教育委員会、尾道市文化協会、尾道エフエム放送、ちゅピCOM おのみち、びんご経済レポート、啓文社、尾道新聞社



3月31日(日)には、尾道市久保にある、レトロカフェで、こんな会もあります。怪談好きの皆さん、併せてぜひどうぞ！
怪談夜会

喫茶キツネ雨

開始 18:00

お問い合わせ・お申し込み 050-5326-7806 (喫茶キツネ雨)

第2回

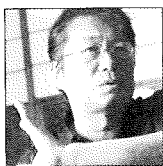
ふるさと怪談 トークライブ in尾道

怪談——怖い話、お化けの話は、どうしてこれほど魅力的なのでしょう。

それはきっと、怪談がその土地の古い歴史や文化を色濃く反映するものだから。亡き人の悲しみを伝え、その御霊を慰め鎮めるものだから。生きている者たちに目に見えないものへの畏敬の念を抱かせ、人生を味わい深くしてくれるものだから——。

「ふるさと怪談トークライブ」という活動は、もともと東日本大震災で大変な被害を受けた東北地方を、怪談文芸によって支援するために始まりました。そして代表発起人である文芸評論家・アンソロジストの東雅夫氏の言葉を借りれば、「みちのくに思いを馳せつつ、みずからに所縁ある地域(=ふるさと)の怪談を掘り起こし活性化させてゆくこと。そして各地の聯繫によって、被災地のみならず日本列島津々浦々において、怪談と文芸による地域文化の継承作業を息長く続けてゆくこと」を理念として、各地で怪談を語るトークライブの活動として継続しています。

この理念に深く賛同する尾道の有志の活動により、2016年5月に「ふるさと怪談トークライブ」を中国地方で初めて、尾道にて開催しました。その好評を受けて、このたび2019年3月30日、第2回「ふるさと怪談トークライブin尾道」を開催することが決定いたしました。前回と同じく、皆様からいただきます入場料は、すべて東日本大震災被災地支援のために寄付いたします。ぜひ多数のご来場をたまわり、尾道にまつわる怪談語りと、桜の季節を迎える尾道の風景をお楽しみいただければ幸いです。



ひがし まさお
東雅夫

神奈川県横須賀市生まれ。アンソロジスト、文芸評論家。おばけずきネットワーク主宰。ふるさと怪談トークライブ代表。1982年創刊の研究批評誌「幻想文学」、2004年創刊の怪談専門誌「幽」の編集長を歴任。近年は各種アンソロジーの企画編集や、幻想文学・ホラーを中心とする批評、怪談研究などの分野で著述・講演活動を展開中。2011年「遠野物語と怪談の時代」(角川選書)で第64回日本推理作家協会賞評論部門を受賞。



もんが みよこ
門賀美央子

1971年、大阪府生まれ。文筆家、書評家。主に文学、宗教、美術、民俗関係の分野を手がける。著書に「自分でつける戒名」「ときめく妖怪図鑑」「ときめく御仏図鑑」、共著に「史上最強 凶解仏教入門」など多数。現在、WEBマガジン「よみものどっとこむ」にて「文豪の死に様」(<https://43mono.com/series/writer/writer01/>)を連載中。



うさみ まこと
宇佐美まこと

1957年、愛媛県生まれ。2006年、「るんびにの子供」で第一回「幽」怪談文学賞短編部門を受賞しデビュー。17年、『愚者の毒』で第70回日本推理作家協会賞長編部門を受賞。著書に『入らずの森』『角の生えた帽子』『死はすぐその影の中』『熟れた月』『骨を串う』『少女たちは夜歩く』など。



みつはら ゆり
光原百合

尾道市出身。尾道市立大学で文芸創作を教えるとともに作家としても活動中。主な執筆ジャンルは童話、ミステリー、ファンタジー。最近では優霊物語(ジェントル・ゴースト・ストーリー)に惹かれ、怪談執筆にも挑戦しつつある。2002年、「十八の夏」で第55回日本推理作家協会賞短編部門を受賞。2011年、「扉守 潮ノ道の旅人」で第1回広島本大賞を受賞。



はやしりょうじ
林良司

故郷尾道が秘める歴史・文化の掘り起こしにライフ・ワークとして取り組む一方で、怪異なるものに対する興味関心も高い。幼少の頃からの水木ファンであり、現代に棲息する「ぬらりひょん」を発見して一人興奮するほど。尾道市市史編さん委員会事務局(専門嘱託員)と尾道新聞社(嘱託記者)の二足の草鞋の日々にある。

《日 時》 2019年3月30日(土) 〈開場〉 13:00 〈開演〉 13:30 〈終了〉 17:00(予定)

《会 場》 信行寺 ◆JR尾道駅より国道2号線を徒歩10分。「信行寺」踏切を渡ってください。◆山陽自動車道「尾道1.C」から車で約40分(現地に駐車場はありません) ◆JR尾道駅からバス2分駅前バス1番乗り場→[渡場通り(わたしばどおり)]下車、徒歩2分(1番乗り場から出るバスは全て止まります)

《入 場 料》 一般:2,000円 学生:1,000円 当日受付にてのご精算となります。 《定 員》 70名(要予約・先着順)
学生の方は学生証をご持参ください。

《参加申込》 下記メール又はお電話にてお申込みください。(お申込先は尾道市立大学地域総合センターです)
メールでのお申込みは、タイトルを「ふるさと怪談参加申込」とした上、参加者氏名・よみがな・連絡先電話番号(代表者様のみで可)・ご住所をお知らせください。

参加申込メールアドレス

csc@onomichi-u.ac.jp

*受信確認のメールが1週間以内に届かない場合は、メールトラブルの可能性がありますので、お手数ですが再度お申し込みください。

参加申込電話番号

0848-22-8312

音声ガイダンス後、内線番号260を押してください。
【電話受付時間】月～金(祝除く)10:00~17:00

主催:「ふるさと怪談トークライブ in 尾道」実行委員会

共催:尾道市立大学地域総合センター

後援:尾道市、尾道市教育委員会、尾道市文化協会、尾道エフエム放送、ちゅピCOM おのみち、びんご経済レポート、啓文社、尾道新聞社

